日学連アゴラ　　　　　　　「バトンをつなぐ」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　髙橋仁（日学連参事　東北学連会長）

私は仙台大学の学長として２年目で、今年度より柴田前会長からバトンを引き継ぎ、本間理事長をはじめとする学連の役員の方々そして学生役員の皆さんに支えていただきながら東北学連の会長職を務めております。特に、学連の業務や大会の運営に携わっておられる学生役員の皆さんのご尽力に対し、改めて感謝申し上げる次第です。

東北学連の本間理事長が本コラムに書いておられましたが、私も柴田前会長とのご縁についてご紹介したいと思います。今から５０年ほど前、私が高専の学生だった頃、柴田先生には卓球のコーチとして度々学校にお出でいただき、指導を頂戴しました。私は、先生のご指導のおかげで少し卓球に自信がもてるようになり、その後の学生生活や教員生活において自分の「柱」となってきたと感じています。学生だった頃、５０年後のことなど全く考えもしませんでしたが、柴田コーチのもとで「一所懸命」に練習したことが、「今」へとつながりました。

その後、長い間卓球とは離れていましたが、柴田先生からお話をもらい、私としては恩返しの一つと考えこの役をお引き受けした次第です。これからも、卓球を愛する学生の皆さんのために少しでもお役に立てるよう努力していきたいと思います。